

伊勢湾最湾奥に位置する名古屋港ガーデンふ頭で採集された魚類

春日井 隆 中嶋 清徳

名古屋港水族館 〒455-0033 愛知県名古屋市港区港町1-3

Fishes collected at the Port of Nagoya Garden Pier, located at the far end of Ise Bay in Japan

Takashi KASUGAI Kiyonori NAKAJIMA

Port of Nagoya Public Aquarium, 1-3 Minatomachi, Minato-ku, Nagoya, Aichi 455-0033, Japan

Correspondence:

Takashi KASUGAI E-mail: t-kasugai@nagoyaminato.or.jp

要旨

1992年以降に伊勢湾最湾奥に位置する名古屋港ガーデンふ頭で採集された魚類標本を整理し、12目33科46種を登録して記載した。

Fish specimens collected since 1992 at the Port of Nagoya Garden Pier, located at the far end of Ise Bay in Japan, were organized and 46 species in 12 orders and 33 families were registered and described.

はじめに

名古屋港ガーデンふ頭（以降ガーデンふ頭）は伊勢湾最奥部の名古屋港内においても最も奥部に位置し（図1）、埋立地のため、水辺はすべて人工的な護岸となっている。名古屋港はラムサール条約に登録されている藤前干潟を有するが、水域に生息する生物の報告はこれまでに藤前干潟における軟体動物（川瀬, 2007; 川瀬ほか, 2009; 中村, 2015）、ガーデンふ頭における付着生物（西川・日野, 1988）、十脚目甲殻類（中嶋・春日井, 2022）、軟体動物（中嶋ほか, 2023）のほか、港内の外来生物（Scholz et al., 2003; 木村・堀井, 2004; 木村ほか, 2005; 伊勢田ほか, 2007; 川瀬ほか, 2022）、流入河川河口域の魚類（荒尾ほか, 2007; 岡村ほか, 2013）の記録、環境影響評価内の生物調査報告（名古屋港管理組合, 2018）、海産哺乳類であるスナメリの出現報告（齋藤ほか, 2014; 曾根・野呂, 2021）などにとどまる。

名古屋港水族館では開館した1992年以降、ガーデンふ頭で確認された生物を記録し、十脚目甲殻類（中嶋・春日井, 2022）、軟体動物（中嶋ほか, 2023）に関してこれまで報告してきた。本稿では2022年までにこれらの報告と同じ調査でガーデンふ頭にて採集された魚類の標本を整理し、これらの中から同定できた標本を記載し、その種に関する知見やガーデンふ頭での出現状況を報告する。その他の未登録の標本については今後精査して報告する予定である。

材料および方法

愛知県名古屋市港区港町のガーデンふ頭（35° 9′ 17″ N; 136° 88′ 0″ E）にて採集調査を行った。採集は岸壁から手網や釣り、カゴ（市販品：カニかご（45×60×20 cm）、網かご（27×27×40 cm））や竹製のシバなどのトラップを用いて採取し、5～10%中性ホルマリンまたは70～99%エタノールにて液浸標本にした。飼育や展

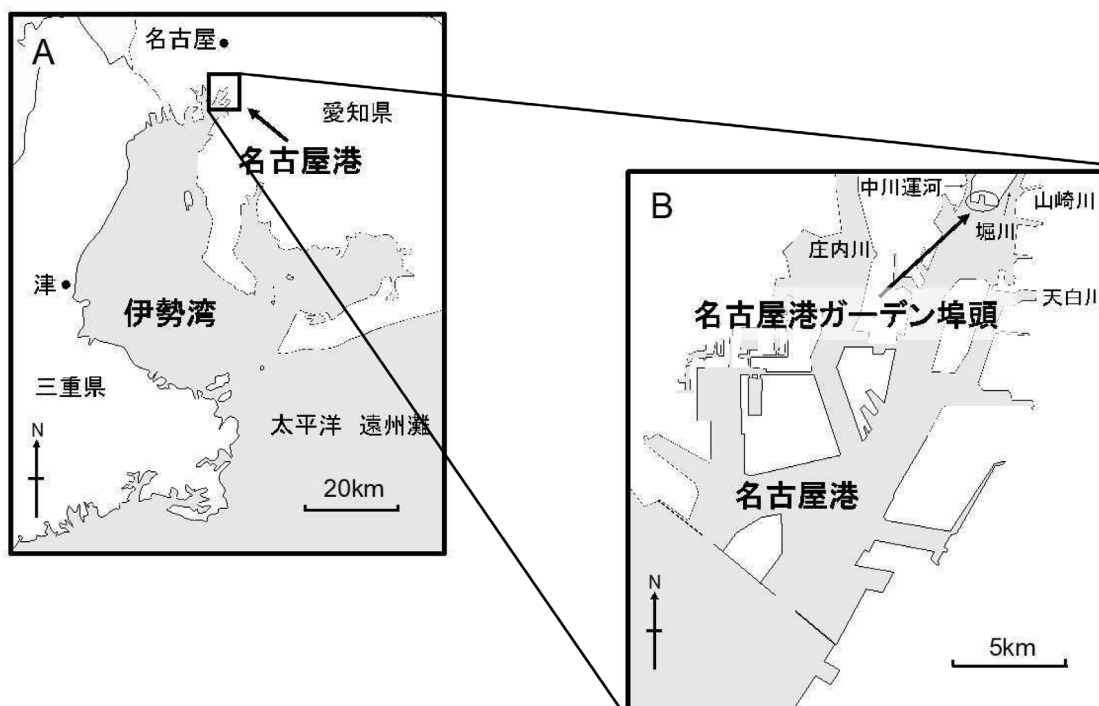


図1. 名古屋港の位置 (A) と名古屋港ガーデンふ頭の位置 (B)

示を行った個体については採集日と標本作成日が異なっているため、個々に表記した。標本はノギス、鋼尺を用いて200 mm未満は10分の1 mm, 200 mm以上は1 mmの精度で標準体長 (SL) または全長 (TL) を測定した。これらの標本は登録番号 (名古屋港水族館魚類資料の略号であるPNPA-Piに続く数字) を付して収蔵した。種の同定は中坊 (1993; 2000; 2013), 記載順序, 標準和名ならびに学名については中坊 (2013) に準拠した。

結果

ガーデンふ頭で採集され、今回標本登録できた魚類は12目33科46種であった。以下に各種について出現状況などを報告する。

メジロザメ目 Carcharhiniformes

シュモクザメ科 Sphyrnidae

1. シロシュモクザメ

Sphyrna zygaena (Linnaeus, 1758)

標本: PNPA-Pi00387, 1個体, TL: 918 mm, 2002年1月8日採集 (図2-1)。

衰弱して泳いでいる個体を捕獲。水槽での飼育を試み

るがすぐに死亡した。ガーデンふ頭において、シュモクザメ類が2021年1月14日にも出現した。この時の個体も頭部の形状から本種と推定される。愛知県近海では三重県神島近海の伊勢湾口からの報告がある (中島, 2003)。

ウナギ目 Anguilliformes

ウナギ科 Anguillidae

2. ニホンウナギ

Anguilla japonica Temminck and Schlegel, 1847

標本: PNPA-Pi00376, 1個体, TL: 323.0 mm, 2021年10月2日採集 (図2-2)。

水面を泳いでいる個体を網で採集。本種と思われる稚魚 (シラスウナギ) もまれに確認される。名古屋市, 愛知県ともに絶滅危惧IB類に評価されている (名古屋市, 2020; 愛知県環境調査センター, 2020)。名古屋港に流入する河川では庄内川からの報告があり (荒尾, 2008; 間野ほか, 2021), ウナギ属の一種 *Anguilla* sp.として日長川河口からの報告がある (荒尾ほか, 2007)。

※荒尾ほか (2007) の愛知県内河口域魚類調査対象67河川のうち, 愛知県知多市南端と弥富市荒浜地先を結ぶ

名古屋港港湾区域 (名古屋港管理組合, 2023a) を名古屋港内とし, 日長川, 美濃川, 信濃川, 大田川, 天白川, 大江川, 山崎川, 堀川, 庄内川, 新川, 日光川, 筏川を名古屋港内流入河川とした。

アナゴ科 Congridae

3. マアナゴ

Conger myriaster (Brevoort, 1856)

標本: PNPA-Pi00338, 1 個体, SL: 91.8 mm, 1998年5月8日採集 (図2-3)。

海底に沈めたトラップ (竹製のシバ) で幼魚1個体を採集した。名古屋港南端の新舞子マリンパーク海釣り施設では主要な釣獲対象種となっている (小林・春日井, 未発表) が, ガーデンふ頭でこれまでに確認されているのはこの標本個体のみである。愛知県内では田原町 (現田原市) 沖の三河湾からの報告がある (中島, 2003)。玉井ほか (2012) は愛知県一色漁港に水揚げされた個体を報告している。

ニシン目 Clupeiformes

ニシン科 Clupeidae

4. サッパ

Sardinella zunasi (Bleeker, 1854)

標本: PNPA-Pi00330, 1 個体, SL: 88.4 mm, 1997年9月1日採集; PNPA-Pi00354, 1 個体, SL: 103.5 mm, 1998年7月22日採集 (図2-4); PNPA-Pi00357, 5 個体, SL: 22.7-25.9 mm, 1998年9月17日採集。

内湾性の普通種。夏期に多く出現し, 成魚が群をなして遊泳しているのをよく見かける。卵, 稚仔も採集できるため, 産卵も行われていると考えられる。愛知県内では矢作川河口 (碧南海浜水族館, 1993), 渥美郡田原町 (現田原市) 沖の三河湾 (中島, 2003), 矢崎川河口 (地村・亀蔦, 2017) からの報告がある。

カタクチイワシ科 Engraulidae

5. カタクチイワシ

Engraulis japonica Temminck and Schlegel, 1846

標本: PNPA-Pi00342, 1 個体, SL: 55.4 mm, 1998年7月5日採集 (図2-5); PNPA-Pi00343, 2 個体, SL: 43.7, 45.3 mm, 1997年7月8日採集; PNPA-Pi00348,

1 個体, SL: 51.9 mm, 1998年7月12日採集。

夏季から秋季にかけて, 体長5 cm程の幼魚が群をなして遊泳しているのが希に確認できる。名古屋港南端の新舞子マリンパーク海釣り施設では夏季に大きな群が頻繁に見られ釣獲されている (小林・春日井, 未発表)。

サケ目 Salmoniformes

シラウオ科 Salangidae

6. シラウオ

Salangichthys microdon (Bleeker, 1860)

標本: PNPA-Pi00384, 3 個体, SL: 45.2-49.0 mm, 2011年12月12日採集 (図2-6)。

水面を群れで遊泳しているのを確認。本標本の採集日以外にも本種を確認したことがあるが, 多くは無い。名古屋市, 愛知県ともに絶滅危惧Ⅱ類に選定されている (名古屋市, 2020; 愛知県環境調査センター, 2020)。名古屋市内では庄内川に分布し, 産卵場所である河口域の砂底の減少や, 赤潮や苦潮 (青潮) などの水質悪化で, 個体数が減少しているとされている (名古屋市環境局企画部環境活動推進課, 2015)。愛知県内では矢作川河口 (碧南海浜水族館, 1993) などからの報告がある。

サケ科 Salmonidae

7. アマゴ (サツキマス)

Oncorhynchus masou ishikawae Jordan and McGregor, 1925

標本: PNPA-Pi00377, 1 個体, SL: 179.0 mm, 2019年12月20日に採集, 飼育後2021年3月4日に測定 (図2-7)。

水面を弱った様子で遊泳しているのを確認したため保護した。吸虫類の寄生によりかなり衰弱していたが, 飼育下で回復の兆しが出てきたので名古屋港水族館で展示した。その後状態が悪くなりながらも1年以上飼育したが死亡。本種は降海型をサツキマスと呼ぶが, 本標本個体はパーマークがはっきりとしていたので, 吸虫類の寄生などの理由で海へ下って間もなくガーデンふ頭へ迷い込んだと思われる。名古屋市内では庄内川水系 (西区, 守山区) で本種が確認されている (なごや生物多様性保全活動協議会, 2023)。ガーデンふ頭においては, 標本個体以外にも, 2022年12月5日に遊泳する本種と思われる

る1個体を確認している。

トゲウオ目 Gasterosteiformes

ヨウジウオ科 Syngnathidae

8. ヨウジウオ

Syngnathus schlegeli Kaup, 1856

標本：PNPA-Pi00318, 2個体, SL：73.7, 82.8 mm, 1997年8月16日採集；PNPA-Pi00323, 10個体, SL：53.2-115.1 mm, 1997年8月18日採集 (図2-8)；PNPA-Pi00353, 1個体, SL：55.2 mm, 1998年7月19日採集。

夏季に流れてきた浮遊物と共に稚魚が採集できる。愛知県内では蒲郡沖の三河湾 (中島, 2003), 渥美半島沖 (荒尾・玉井, 2011) からの報告がある。知多半島のアマモ場には多く生息していることから、稚魚がガーデンふ頭に流れてくるものと考えられる。

9. ガンテンイシヨウジ

Hippichthys (Parasyngnathus) penicillus (Cantor 1849)

標本：PNPA-Pi00392, 1個体, SL：109.8 mm, 2005年8月10日採集 (図2-9)。

2005年以降、成魚も含めて頻繁に確認できるようになった。名古屋港に流入する河川では日光川からの報告がある (荒尾, 2019)。ほかに愛知県内では三河湾の藻場 (中島, 2003), 鳥羽川 (西尾市) 河口域 (地村・亀蔦, 2018) からの報告がある。

ボラ目 Mugiliformes

ボラ科 Mugilidae

10. ボラ

Mugil cephalus cephalus Linnaeus, 1758

標本：PNPA-Pi00303, 7個体, SL：24.3-30.5 mm, 1997年4月19日採集；PNPA-Pi00304, 5個体, SL：29.6-33.0 mm, 1997年5月25日採集；PNPA-Pi00337, 1個体, SL：30.7 mm, 1998年4月20日採集 (図2-10)。

幼魚から全長50 cmを超える成魚を含め、ガーデンふ頭で最も確認できる魚種の一つ。時に水面を覆いつくすほどの大群が出現することもある。名古屋港に流入する河川では、信濃川、大田川、堀川河口からの報告がある (荒尾ほか, 2007)。

トウゴロウイワシ目 Atheriniformes

トウゴロウイワシ科 Atherinidae

11. トウゴロウイワシ

Hypoatherina bleekeri (Günther, 1861)

標本：PNPA-Pi00328, 1個体, SL：21.0 mm, 1997年8月31日採集；PNPA-Pi00331, 1個体, SL：38.6 mm, 1997年9月1日採集 (図2-11)；PNPA-Pi00332, 4個体, SL：21.3-33.6 mm, 1997年9月4日採集。

夏期から秋期に多く観察される。体長4 cm程の個体が群をなして遊泳している。灯火採集でも確認できる (大島ほか, 未発表)。

カダヤシ目 Cyprinodontiformes

カダヤシ科 Poeciliidae

12. カダヤシ

Gambusia affinis (Baird and Girard, 1853)

標本：PNPA-Pi00315, 1個体, SL：27.2 mm, 1997年7月16日採集 (図2-12)；PNPA-Pi00327, 1個体, SL：23.9 mm, 1997年8月31日採集；PNPA-Pi00356, 12個体, SL：15.8 mm, 1998年7月31日採集。

北アメリカ、メキシコ原産の移植種。夏期に希に観察できる。近隣の運河には多数生息しているため、流れてきたものと考えられる。群をなして遊泳していることもあるため塩分耐性はかなり強いと考えられる。名古屋港へ流入する河川では庄内川、天白川水系藤川、大江川、新川からの報告がある (荒尾, 2019；荒尾ほか, 2007)。

ダツ目 Beloniformes

ダツ科 Belonidae

13. ダツ

Strongylura anastomella (Valenciennes, 1846)

標本：PNPA-Pi00329, 1個体, SL：132.9 mm, 1997年9月1日採集 (図2-13)。

水面を遊泳している幼魚が希に観察できる。名古屋港南端の新舞子マリナーパーク海釣り施設で成魚が釣獲されている (小林・春日井, 未発表)。愛知県内では蒲郡沖の三河湾からの報告がある (中島, 2003)。

スズキ目 Perciformes

メバル科 Sebastidae

14. シロメバル

Sebastes cheni Barsukov, 1988

標本：PNPA-Pi00307, 3 個体, SL：49.1-52.7mm, 1997年6月1日採集；PNPA-Pi00345, 1 個体, SL：56.3 mm, 1998年7月12日採集 (図2-14)；PNPA-Pi00350, 1 個体, SL：49.4mm, 1998年7月12日採集。

従来のメバル *Sebastes inermis* は, Kai and Nakabo (2008) によりクロメバル *S. ventricosus*, アカメバル *S. inermis*, シロメバル *S. cheni* の3種として記載された。標本個体は胸鰭軟条数が17本、臀鰭軟条数は8あるいは9本であることからシロメバル *S. cheni* と同定された。全長10 mm程の個体の標本も得ているので、今後精査する予定である。全長10 mm程の幼魚が4月頃に多く出現し、7月頃まで成長した個体が確認できる。その後は他の場所に移動するものと思われるが、冬季にも確認できることもあるため、居残る個体もいると考えられる。荒尾・玉井 (2011) は愛知県一色漁港に水揚げされた個体を報告している。

15. クロソイ

Sebastes schlegelii Hilgendorf, 1880

標本：PNPA-Pi00386, 1 個体, SL：103.0 mm, 2021年4月下旬に採集, 飼育後2021年11月10日に測定 (図2-15)。

全長20 mm程の幼魚2個体を採集。名古屋港水族館で飼育展示後、1個体が死亡したために標本化した。名古屋港内では40 cmを超える大型個体も釣獲されているので生存数は多いと思われる。愛知県内では江比間 (田原市) 沖の三河湾からの報告がある (中島, 2003)。

16. タケノコメバル

Sebastes oblongus Günther, 1877

標本：PNPA-Pi00346, 1 個体, SL：71.8 mm, 1998年7月12日採集 (図2-16)；PNPA-Pi00351, 2 個体, SL：59.4, 70.1 mm, 1998年7月12日採集。

幼魚が希に確認できる。名古屋港南端の新舞子マリンパーク海釣り施設で釣獲されている (小林・春日井, 未発表)。堤防壁などに生息するため、ガーデンふ頭にお

いても生息数は多いと思われる。愛知県内では田原町 (現田原市) 沖の三河湾からの報告がある (中島, 2003)。

17. カサゴ

Sebastes marmoratus (Cuvier, 1829)

標本：PNPA-Pi00391, 1 個体, SL：27.4 mm, 2022年5月3日採集 (図2-17)。

幼魚1個体を採集。ガーデンふ頭では冬季から春季にかけて成魚も釣獲される。名古屋港内における主要な釣獲対象種。愛知県近海では三重県神島近海の伊勢湾口からの報告がある (中島, 2003)。玉井・荒尾 (2021) は愛知県一色漁港に水揚げされた個体を報告している。

ホウボウ科

18. ホウボウ

Chelidonichthys spinosus (McClelland, 1844)

標本：PNPA-Pi00399, 1 個体, SL：24.1 mm, 2019年5月15日採集 (図2-18)。

幼魚1個体を採集。ガーデンふ頭での本種の確認は標本個体のみである。名古屋港南端の新舞子マリンパーク海釣り施設で釣獲されている (小林・春日井, 未発表)。愛知県内では田原市高松町地先の遠州灘からの報告がある (荒尾・玉井, 2011)。

コチ科 Platycephalidae

19. イネゴチ

Cociella crocodila (Tilesius, 1812)

標本：PNPA-Pi00383, 1 個体, SL：147.7 mm, 2006年8月14日に採集, 飼育後2007年8月14日に測定 (図2-19)。

水面で遊泳していた全長50 mm程の幼魚1個体を採集。名古屋港水族館で飼育したが、1年後に死亡したために標本化した。ガーデンふ頭での本種の確認は標本個体のみである。愛知県近海では三重県神島近海の伊勢湾口からの報告がある (中島, 2003)。

スズキ科 Lateolabracidae

20. スズキ

Lateolabrax japonicus (Cuvier, 1828)

標本：PNPA-Pi00302, 3 個体, SL : 34.2-35.5 mm, 1997 年 5 月 12 日採集 ; PNPA-Pi00312, 1 個体, SL : 67.0 mm, 1997 年 6 月 8 日採集 ; PNPA-Pi00313, 1 個体, SL : 72.4 mm, 1997 年 6 月 24 日採集 ; PNPA-Pi00317, 2 個体, SL : 109.5, 114.3 mm, 1997 年 8 月 8 日採集 ; PNPA-Pi00340, 1 個体, SL : 109.6 mm, 1998 年 7 月 5 日採集 (図 2-20) ; PNPA-Pi00359, 5 個体, SL : 16.2-20.8 mm, 1999 年 4 月 26 日採集

4 月頃に体長 3 cm 程の幼魚が出現する。夏期には当歳魚が多数群泳しているのが観察できる。体長 60~80 cm 程度の大型の個体も周年観察できる。名古屋港内における主要な釣獲対象種である。名古屋港に流入する河川では信濃川河口 (荒尾ほか, 2007), 庄内川 (荒尾, 2019) からの報告がある。

ハタ科 Serranidae

21. キジハタ

Epinephelus akaara (Temminck and Schlegel, 1842)

標本：PNPA-Pi00396, 1 個体, SL : 189.2 mm, 2022 年 11 月 4 日採集 (図 2-21)。

釣りで採集。ガーデンふ頭では本標本個体以外にも釣獲されている。近年、名古屋港に多く生息しているようで、主要な釣獲対象種となっている。愛知県近海では三重県神島近海の伊勢湾口からの報告がある (中島, 2003)。

アジ科 Carangidae

22. ギンガメアジ

Caranx sexfasciatus Quoy and Gaimard, 1825

標本：PNPA-Pi00378, 1 個体, TL : 240 mm, 2015 年 11 月 30 日採集 (図 2-22)。

釣りで採集。本標本のような幼魚は“メッキ”と呼ばれる。愛知県内では赤羽沖の遠州灘から報告がある (中島, 2003)。ガーデンふ頭でこれまでに確認されているのはこの標本個体のみである。

ヒイラギ科 Leiognathidae

23. ヒイラギ

Nuclequula nuchalis (Temminck and Schlegel,

1845)

標本：PNPA-Pi00382, 2 個体, TL : 66.9, 67.3 mm, 2012 年 9 月 28 日採集 (図 2-23) ; PNPA-Pi00395, 4 個体, TL : 22.8-24.5 mm, 2000 年 9 月 21 日採集。

水面を泳いでいる幼魚が希に確認できる。名古屋港南端の新舞子マリパーク海釣り施設では夏季に釣獲されている (小林・春日井, 未発表)。愛知県内では阿久比川河口 (荒尾ほか, 2007), 矢作川本流河口域 (碧南海浜水族館, 1992), 矢作古川感潮域 (地村ほか, 2014) からの報告がある。

イサキ科 Haemulidae

24. コシヨウダイ

Plectorhinchus cinctus (Temminck and Schlegel, 1843)

標本：PNPA-Pi00334, 1 個体, SL : 45.8 mm, 1997 年 9 月 4 日 (図 2-24) 採集 ; PNPA-Pi00389, 1 個体, SL : 49.8 mm, 2002 年 8 月 20 日採集。

1997 年と 2002 年にそれぞれ幼魚 1 個体を採集。2002 年 8 月 20 日採集個体 (PNPA-Pi00389) は台風通過後の強風による苦潮 (青潮) 発生時に水面に浮かんでいた。ガーデンふ頭での本種の確認はこれらの標本 2 個体のみである。愛知県近海では三重県神島近海の伊勢湾口からの報告がある (中島, 2003)。

チョウチョウウオ科 Chaetodontidae

25. トゲチョウチョウウオ

Chaetodon auriga Forsskål, 1775

標本：PNPA-Pi00375, 1 個体, SL : 62.0 mm, 2021 年 10 月 2 日採集 (図 2-25)。

サンゴ礁域に生息する。愛知県近海では伊勢湾口から報告がある (中島, 2003)。知多半島の岩礁域で最も確認できるチョウチョウウオ類であるが、死滅回遊魚と思われる。ガーデンふ頭での本種の確認は標本個体のみである。

カワスズメ科 Cichlidae

26. ナイルティラピア

Oreochromis niloticus (Linnaeus, 1758)

標本：PNPA-Pi00358, 1 個体, SL : 63.2 mm, 1998 年

9月29日採集(図2-26); PNPA-Pi00368, 1個体, SL: 43.1 mm, 1999年10月20日採集.

アフリカ原産の移入種. 日本国内には1962年に最初にアラブ連邦から養殖用に輸入されたものとされている(今井, 1980). 調査地点西側の名古屋港に流入する荒子川には周年生息しており, 稚魚から体長が50 cmを超える成魚まで多数確認できる. 名古屋港へ流入する河川では荒子川のほか, 山崎川, 堀川, 庄内川で確認されている(愛知県環境調査センター, 2021). ガーデンふ頭では流されてきた個体が希に確認できる.

ニシキギンボ科 Pholidae

27. ギンボ

Pholis nebulosa (Temminck and Schlegel, 1845)

標本: PNPA-Pi00305, 2個体, SL: 62.4, 73.0 mm, 1997年5月25日採集; PNPA-Pi00306, 1個体, SL: 92.2 mm, 1997年6月1日採集; PNPA-Pi00308, 1個体, SL: 80.5 mm, 1997年6月5日; PNPA-Pi00314, 1個体, SL: 85.3 mm, 1997年6月24日; PNPA-Pi0035, 1個体, SL: 72.5 mm, 1998年4月20日採集(図2-27); PNPA-Pi0036, 2個体, SL: 48.8, 51.1 mm, 1998年4月12日採集.

カゴや竹製のシバで幼魚が採集できる. 大型の個体は採集されないため, 冬期に孵化した個体が湾奥にまで流れて来たものと考えられる. ガーデンふ頭では過去の調査においても確認されている(西川・日野, 1988). 愛知県内では田原市高松町地先の遠州灘(荒尾・玉井, 2011), 佐久島近海の三河湾(中島, 2003)からの報告がある.

イソギンボ科 Blenniidae

28. ニジギンボ

Petroscirtes breviceps (Valenciennes, 1836)

標本: PNPA-Pi00320, 1個体, SL: 38.0 mm, 1997年8月16日採集; PNPA-Pi00322, 3個体, SL: 32.6-43.1 mm, 1997年8月18日採集(図2-28).

浮遊物と共に採集された. ガーデンふ頭でこれまでに確認されているのはこれらの標本4個体のみである. 愛知県内では篠島近海の三河湾口からの報告がある(中島, 2003).

29. イダテンギンボ

Omobranchus punctatus (Valenciennes, 1836)

標本: PNPA-Pi00341, 1個体, SL: 54.5 mm, 1998年7月5日採集(図2-29); PNPA-Pi00349, 1個体, SL: 54.8 mm, 1998年7月12日採集; PNPA-Pi00366, 1個体, SL: 81.3 mm, 1999年10月20日採集.

岸壁のカキ殻などを生息場所として周年生活しているものと思われる. 普段, 水面から確認できることはほとんどないが, 苦潮(青潮)発生時に酸欠で水面に浮かんでいる個体が採集できる. 愛知県内では豊川河口(荒尾ほか, 2007), 矢崎川河口(浅香, 2019)からの報告がある.

30. トサカギンボ

Omobranchus fasciolatoceps (Richardson, 1846)

標本: PNPA-Pi00364, 1個体, SL: 28.4 mm, 1999年10月16日採集; PNPA-Pi00367, 3個体, SL: 37.7-47.8 mm, 1999年10月20日採集(図2-30)

イダテンギンボと同所的に周年生息しているものと思われる. 愛知県内では豊川河口(荒尾ほか, 2007), 矢崎川河口(浅香, 2019)からの報告がある.

ネズツボ科 Callionymidae

31. ハタタテヌメリ

Repomucenus valenciennesi (Temminck and Schlegel, 1846)

標本: PNPA-Pi00310, 1個体(雄), SL: 56.0mm, 1997年6月7日採集(図2-31); PNPA-Pi00361, 1個体(雌), SL: 40.0 mm, 1999年5月12日採集.

ガーデンふ頭ではこれらの標本の2個体のみ確認. 愛知県内では篠島沖の三河湾口からの報告がある(中島, 2003)

ハゼ科 Gobiidae

32. トビハゼ

Periophthalmus modestus Cantor, 1842

標本: PNPA-Pi00385, 1個体, SL: 34.0mm, 2011年9月25日採集(図2-32).

干潟に生息し, 干潮時は泥上を飛び跳ねる. ガーデンふ頭には干出する干潟は存在しないため, 標本個体は名

古屋港内の干潟から流れてきたと思われる。名古屋市では絶滅危惧 I B類、愛知県では絶滅危惧 II類に選定されている (名古屋市, 2020; 愛知県環境調査センター, 2020)。名古屋港に流入する河川では信濃川、庄内川、新川、筏川河口からの報告がある (荒尾ほか, 2007)。その他愛知県内では矢作川の河口干潟からの報告がある (鳥居, 2016)。ガーデンふ頭では台風後などに漂流物とともに流されてきた個体が確認できる。

33. マハゼ

Acanthogobius flavimanus (Temminck and Schlegel, 1845)

標本: PNPA-Pi00344, 1 個体, SL: 47.7 mm, 1998年7月12日採集 (図 2-33); PNPA-Pi00347, 2 個体, SL: 59.9, 60.1 mm, 1998年7月12日採集。

春季に本種の稚魚と思われる個体が多数確認でき、夏季から秋季に全長10 cmを超える成魚も確認できる。名古屋港へ流入する河川では庄内川 (荒尾, 2019)、信濃川、天白川、山崎川、日光川、筏川河口 (荒尾ほか, 2007) からの報告がある。

34. アカオビシマハゼ

Tridentiger trigonocephalus (Gill, 1858)

標本: PNPA-Pi00394, 2 個体, SL: 34.8, 39.8 mm, 2002年8月20日採集 (図 2-34)

ガーデンふ頭では周年生息していると思われる。シモフリシマハゼとは塩分濃度による生息分布域の違いが知られているが (明仁・坂本, 1989)、ガーデンふ頭での生息状況の違いは不明である。標本個体は台風通過後の強風による苦潮 (青潮) 発生時に水面で採集。愛知県内では今堀川河口からの報告がある (荒尾ほか, 2007)

35. シモフリシマハゼ

Tridentiger bifasciatus Steindachner, 1881

標本: PNPA-Pi00369, 5 個体, SL: 38.3-51.1 mm, 1999年10月20日採集 (図 2-35)

岸壁に付着するカキ殻などに周年生息しているものと思われる。標本個体は苦潮 (青潮) 発生時に水面で採集。名古屋港へ流入する河川では庄内川河口 (荒尾ほか, 2007)、日光川 (荒尾, 2019) からの報告がある。

36. チチブ

Tridentiger obscurus (Temminck and Schlegel, 1845)

標本: PNPA-Pi00339, 1 個体, SL: 42.9 mm, 1998年6月17日採集 (図 2-36); PNPA-Pi00363, 1 個体, SL: 34.0 mm, 1999年10月16日採集; PNPA-Pi00370, 1 個体, SL: 30.7 mm, 1999年10月20日採集。

ガーデンふ頭では周年確認されるが、ヌマチチブ *T. brevispinis* も同所的に生息している可能性がある。名古屋港に流入する河川では、チチブ属未同定種 *Tridentiger* sp. (チチブあるいはヌマチチブ *T. brevispinis*) として、信濃川、天白川、山崎川、庄内川、新川河口からの報告がある (荒尾ほか, 2007)。

37. ウロハゼ

Glossogobius olivaceus (Temminck and Schlegel, 1845)

標本: PNPA-Pi00388, 1 個体, SL: 73.8 mm, 2012年10月6日採集 (図 2-37)。

苦潮 (青潮) 発生時に手網やトラップ (カゴ) で採集されるがガーデンふ頭では他のハゼ類より少ないと思われる。名古屋港に流入する河川では、信濃川、天白川、山崎川、庄内川、日光川、筏川河口からの報告がある (荒尾ほか, 2007; 荒尾, 2019)。

38. ドロメ

Chaenogobius gulosus (Guichenot, 1882)

標本: PNPA-Pi00380, 1 個体, SL: 62.6 mm, 2002年8月20日採集 (図 2-38)

台風通過後の強風による苦潮 (青潮) 発生時に水面に浮かんでいる個体を採集。本標本個体の採集以降、ガーデンふ頭ではしばしば確認される。春季に稚魚も多数確認される。愛知県内では田原町仁崎海岸の三河湾からの報告がある (中島, 2003)。

カマス科

39. アカカマス

Sphyræna pinguis Günther, 1874

標本: PNPA-Pi00398, 1 個体, SL: 213 mm, 2012年10月10日採集 (図 2-39)。

釣りで採集。ガーデンふ頭でこれまでに確認されているのはこの標本個体のみであるが、希に回遊してくるものと思われる。名古屋港南端の新舞子マリナーパーク海釣り施設で釣獲されている(小林・春日井, 未発表)。愛知県内では伊良湖岬沖の遠州灘からの報告がある(中島, 2003)。

タチウオ科 Trichiuridae

40. タチウオ

Trichiurus japonicus Temminck and Schlegel, 1844
標本: PNPA-Pi00397, 1 個体, TL: 680 mm, 2015年1月30日採集(図2-40)。

釣りで採集。ガーデンふ頭での本種の確認は標本個体のみである。胃内に全長140 mmのコノシロ *Konosirus punctatus*が確認された。名古屋港内において希に釣獲されているようで、名古屋港南端の新舞子マリナーパーク海釣り施設でも確認している(小林・春日井, 未発表)。愛知県近海では三重県神島近海の伊勢湾口からの報告がある(中島, 2003)。

サバ科 Scombridae

41. マサバ

Scomber japonicus Houttuyn, 1782
標本: PNPA-Pi00379, 1 個体, TL: 185.0 mm, 2018年10月17日採集(図2-41)。

釣りで採集。名古屋港南端の新舞子マリナーパーク海釣り施設では主要な釣獲対象種となっている(小林・春日井, 未発表)。ガーデンふ頭では希に回遊があり釣獲されている。愛知県内では赤羽根沖の遠州灘からの報告がある(中島, 2003)。

カレイ目 Pleuronectiformes

カレイ科 Pleuronectidae

42. イシガレイ

Kareius bicoloratus (Basilewsky, 1855)
標本: PNPA-Pi00309, 3 個体, SL: 30.1-43.4 mm, 1997年6月7日採集(図2-42)。

水面を遊泳している幼魚を採集。ガーデンふ頭では成魚は確認していない。本種も含まれると思われるカレイ目の稚魚は頻りに確認される。名古屋港南端の新舞子マ

リナーパーク海釣り施設で釣獲されている(小林・春日井, 未発表)。愛知県内では豊橋市吉崎沖の三河湾からの報告がある(中島, 2003)。

43. マコガレイ

Pleuronectes yokohamae Günther, 1877

標本: PNPA-Pi00393, 1 個体, SL: 74.0 mm, 2022年5月3日採集(図2-43)。

トラップ(カゴ)で採集。ガーデンふ頭での本種の確認は希。名古屋港南端の新舞子マリナーパーク海釣り施設で釣獲されている(小林・春日井, 未発表)。愛知県内では佐久島近海の三河湾(中島, 2003)、矢崎川河口(地村・亀葛, 2017)からの報告がある。

ウシノシタ科

44. ゲンコ

Cynoglossus interruptus Günther, 1880

標本: PNPA-Pi00390, 1 個体, TL: 54.9 mm, 2005年8月10日採集(図2-44)。

台風通過後の強風による苦潮(青潮)発生時に水面を遊泳しているところを手網で採集。ガーデンふ頭での本種の確認は標本個体のみである。伊勢湾では小型底引き網漁業の混獲物として報告がある(日比野ほか, 2015)。

フグ目 Tetraodontiformes

ギマ科 Triacanthidae

45. ギマ

Triacanthus biaculeatus Bloch, 1786

標本: PNPA-Pi00319, 9 個体, SL: 9.0-19.4 mm, 1997年8月16日採集; PNPA-Pi00325, 4 個体, SL: 11.9-23.1 mm, 1997年8月18日採集; PNPA-Pi00326, 12 個体, SL: 16.8-36.8 mm, 1997年8月31日採集; PNPA-Pi00333, 3 個体, SL: 40.8-46.7 mm, 1997年9月4日採集(図2-45)。

夏季に幼魚が出現し、群泳しているのが確認できる。体長20 cm程度の成魚も希に観察できる。また夏季に死亡個体が浮いていることがよく確認される。愛知県内では豊橋市大崎町沖の三河湾からの報告がある(中島, 2003)。

フグ科 Tetraodontidae

46. トラフグ

Takifugu rubripes (Temminck and Schlegel, 1850)

標本: PNPA-Pi00362, 2 個体, SL: 32.9, 33.5 mm, 1999 年 7 月 5 日採集 (図 2-46).

1999年の夏季に幼魚が群れて泳いでいるのを確認。伊勢湾口は本種の産卵場になっている(白木谷ほか, 2002)。近年はガーデンふ頭では確認できない。愛知県内では伊良湖岬沖の遠州灘からの報告がある(中嶋, 2003)。

考察

名古屋港ガーデンふ頭において遊泳している様子が頻繁に確認できるのは今回記載した種類ではサツパ、スズキ、ボラであり、また、これまで標本は得られていないがアカエイ *Dasyatis akajei*、コノシロ *Konosirus punctatus*、クロダイ *Acanthopagrus schlegelii*があげられる。特にコノシロはボラとともに非常に生息数が多く大群で遊泳しているのが確認できる。

確認されたイソギンボ科のイダテンギンボ、トサカギンボ、ハゼ科魚類の多くは底生性または護岸壁のカキ殻などで生活しているため、通常目視で観察できることはまれである。しかし、名古屋港内は夏季から秋季を中心に底層付近の酸素濃度が低い状態が続く(名古屋港管理組合, 2023b) 現象のため、ガーデンふ頭においても台風通過後などに時折“苦潮(青潮)”が発生し、酸素欠乏によりこれら魚類が斃死個体を含めて水面で確認される。

荒尾ほか(2007)は、名古屋港に流入する12河川の河口域からウナギ属未同定種、モツゴ *Pseudorasbora parva*、カダヤシ、ボラ、セスジボラ *Chelon lauvergnii*、スズキ、ブルーギル *Lepomis macrochirus*、コトヒキ *Terapon jarbua*、トビハゼ、エドハゼ *Gymnogobius macrogathos*、ピリンゴ *Gymnogobius breunigii*、ウロハゼ、マハゼ、マサゴハゼ *Pseudogobius masago*、ヒメハゼ *Favonigobius gymnauchen*、アベハゼ *Mugilogobius abei*、ヨシノボリ属未同定種 *Rhinogobius* sp.、シモフリシマハゼ、チチブ属未同定種の合計19種を確認している。これらの内、カダヤシ、ボラ、スズキ、トビハゼ、ウロハゼ、マハゼ、シモフリシマハゼは今回ガーデンふ

頭の魚類としても確認され標本登録した。未登録標本の中にはまだハゼ科など複数種があるので精査して報告する予定である。

約30年の調査の中で、伊勢湾最湾奥に位置するガーデンふ頭にシユモクザメ類が出現したことは特筆に値する。本稿で記載したシロシユモクザメ 1 個体(2002年 1 月 8 日)および2021年 1 月 14日に確認した 1 個体のあわせて 2 個体であるが、後者も頭部形状からシロシユモクザメであったと思われる。標本個体は発見時に瀕死状態であったが、2021年に確認した個体は弱った様子はなく水面を遊泳していたため、本種は希に伊勢湾最湾奥まで来遊するのかもしれない。同属のアカシユモクザメ *Sphyrna lewini*は湾内や汽水域にもよく出現するとされ(中坊, 2013)、広島県の太田川河口域で幼魚が捕獲されたことがある(吉郷, 2007)。

謝辞

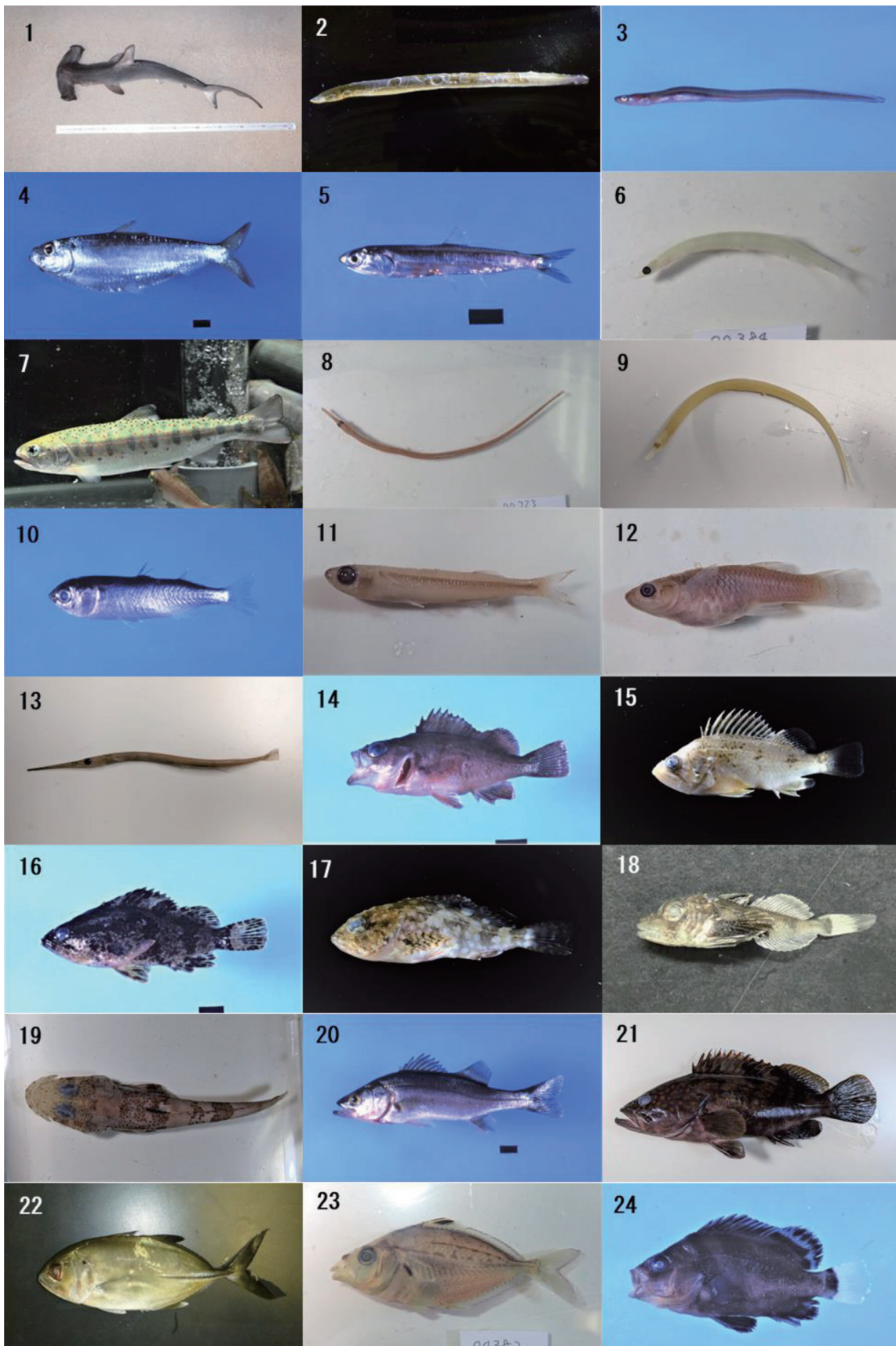
名古屋港管理組合および公益財団法人名古屋みなと振興財団の関係各位には生物の情報収集や採集、保管に際し多大な協力をいただいた。本調査の標本には著者らが採集した個体の他、当財団同僚諸氏が採集し提供いただいた個体を含んでいる。また、同財団職員の平野保男氏にはアマゴの写真を提供していただいた。これらの方々に対し心から深く謝意を表する。

引用文献

- 愛知県環境調査センター. 2020. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち2020-動物編-。愛知県環境局環境政策部自然環境課, 愛知. 769pp.
- 愛知県環境調査センター. 2021. 愛知県の外来種 ブルーデータブックあいち2021. 愛知県環境局環境政策部自然環境課, 名古屋. 217pp.
- 間野静雄・向井貴彦・佐藤裕治・鶴飼 普. 2021. 愛知県庄内川の小田井堰堤魚道内で確認された魚類. なごやの生物多様性, 8: 71-79.
- 明仁・坂本勝一. 1989. シマハゼの再検討. 魚類学雑誌, 36(1): 100-112.
- 荒尾一樹. 2008. 庄内川で採集された魚類. 豊橋市自然史博物館研報, 18: 25-27.

- 荒尾一樹. 2019. 名古屋市で採集された淡水魚類. なごやの生物多様性, 6: 109-111.
- 荒尾一樹・玉井隆章. 2011. 愛知県一色漁港に水揚げされた魚類. 豊橋市自然史博物館研報, 21: 17-26.
- 荒尾一樹・山上将史料・大仲知樹. 2007. 愛知県の河口域魚類. 豊橋市自然史博物館研報, 17: 29-40.
- 浅香智也. 2019. 矢作川(西尾市;旧幡豆郡吉良町)の魚類相. 碧南海浜水族館年報, 31: 25-27.
- 碧南海浜水族館. 1993. 矢作川河口における魚類および甲殻類(十脚目)生息調査. 碧南海浜水族館・碧南市青少年海の科学館年報, 6: 14-26.
- 日比野 学・青山高士・松澤忠詩・谷 光太郎. 2015. 伊勢湾における底層溶存酸素量の変化に伴う大型底生生物の小型底びき網への入網状況. 水産海洋研究, 79(4): 266-276.
- 今井貞彦. 1980. テラピア類. 川合禎次・川那部浩哉・水野信彦(編). 日本の淡水生物 侵略と攪乱の生態学, pp.124-132. 東海大学出版会, 東京.
- 伊勢田真嗣・大谷道夫・木村妙子. 2007. 外来種 *Rhithropanopeus harrisi* ミナトオウギガニ(和名新称)(甲殻亜門:カニ下目:Panopeidae科)の日本における初記録. 日本ベントス学会誌, 62: 39-44.
- Kai, Y. and T. Nakabo (2008) Taxonomic review of the *Sebastes inermis* species complex (Scorpaeniformes: Scorpaenidae). Ichthyological Research, 55, 238-259.
- 川瀬基弘. 2007. 藤前干潟の軟体動物. 瀬木学園紀要, 1: 141-148.
- 川瀬基弘・市原 俊・横井敦史. 2022. 文献と野外調査により名古屋市で確認された貝類の外来種. なごやの生物多様性, 9: 1-19.
- 川瀬基弘・尾畑 功・市原 俊. 2009. 愛知県藤前干潟に生息する貝類. 豊橋市自然史博物館研報, 19: 11-20.
- 木村妙子・堀井直二郎. 2004. 伊勢湾に移入したイガイダマシ. ちりぼたん, 35(2): 37-43.
- 木村昭一・中嶋清徳・木村妙子. 2005. 伊勢湾で採集された移入種ウスカラシオツガイ. かきつばた, (31): 39-40.
- 名古屋港管理組合. 2018. 金城ふ頭地先公有水面埋立てに係る環境影響評価書. 資料編(公有水面の埋立て)平成30年5月. 名古屋港管理組合, 名古屋. 240pp.
- 名古屋港管理組合. 2023a. 名古屋港要覧2022. https://www.port-of-nagoya.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/003/202/20220908.pdf. 2023年8月16日確認
- 名古屋港管理組合. 2023b. 名古屋港の水質. 底層溶存酸素調査. <https://www.port-of-nagoya.jp/shokai/kankyo/suishitsu/1001138.html>. 2023年8月21日確認
- なごや生物多様性保全活動協議会. 2023. なごやの生きもの. 生物情報モニタリングデータベース. サツキマス・アマゴ, ニホンウナギ, アユ. https://bdnagoya.jp/creature/pdf/160307_gyorui_kaisetsu.pdf, 2023年8月17日確認
- 名古屋市. 2020. 名古屋市版レッドリスト 2020. 名古屋. 26pp.
- 名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課. 2015. 名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックなごや2015-動物編-. 名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課, 名古屋. 504 pp.
- 中坊徹次(編). 1993. 日本産魚類検索 全種の同定. 東海大学出版会, 東京. 1474pp.
- 中坊徹次(編). 2000. 日本産魚類検索 全種の同定 第二版. 東海大学出版会, 東京. 1748pp.
- 中坊徹次(編). 2013. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会, 東京. 2530pp.
- 中嶋清徳・春日井 隆. 2022. 伊勢湾最湾奥に位置する名古屋港ガーデンふ頭で採集された十脚目甲殻類. なごやの生物多様性, 9: 49-59.
- 中嶋清徳・中野秀彦・春日井 隆・木村妙子・木村昭一. 2023. 伊勢湾最湾奥に位置する名古屋港ガーデンふ頭で採集された軟体動物. なごやの生物多様性, 10: 111-123.
- 中島徳男. 2003. 愛知県近海の魚類. 自費出版, 愛知. 198pp+79 pl
- 中村 肇. 2015. 藤前干潟でマテガイを採集. なごやの生物多様性, 2: 35.
- 西川輝昭・日野昌也. 1988. 名古屋港における付着生物の周年変化-1986~1987試験版浸漬調査の報告. 名古屋圏の構造と特質-名古屋市および周辺地域の社会・文化・自然-. 名古屋大学教養部, 東海研究III: 17-34.
- 岡村祐里子・西 史江・榊原 靖. 2013. 名古屋市内の河

- 川に生息する水生生物 (底生生物, 魚類). 名古屋市環境科学調査センター年報第1号: 84-89.
- 齋藤 豊・堂崎正博・祖一 誠. 2014. 名古屋港に生息するスナメリの調査. 海洋と生物, 36: 29-35.
- Scholz, J., K. Nakajima, T. Nishikawa, J. Kaselowsky, and F. S. Mawatari. 2003. First discovery of *Bugula stolonifera* Ryland, 1960 (Phylum Bryozoa) in Japanese waters, as an alien species to the Port of Nagoya. Bulletin of Nagoya University Museum, 19: 9-19.
- 白木谷卓哉・田中健二・岩田康弘・家田喜一・石川雅章. 2002. 伊勢湾口部におけるトラフグの産卵場及び産卵時期. 愛知県水産試験場研究報告(9): 27-31.
- 曾根啓子・野呂達哉. 2021. 藤前干潟に漂着したスナメリ (*Neophocaena phocaenoides*) の収容と標本化. なごやの生物多様性, 8: 133-137.
- 玉井隆章・荒尾一樹. 2021. 愛知県一色漁港に水揚げされた魚類(4). 豊橋市自然史博物館研報, 31: 45-55.
- 玉井隆章・市川久祥・荒尾一樹. 2012. 愛知県一色漁港に水揚げされた魚類(2). 豊橋市自然史博物館研報, 22: 33-40.
- 地村佳純・亀蔦重範. 2017. 矢崎川 (西尾市) の魚類相. 碧南海浜水族館年報, 29: 21-25.
- 地村佳純・亀蔦重範. 2018. 西尾市内三河川 (鳥羽川, 八幡川, 小野谷川) の魚類相. 碧南海浜水族館年報, 30: 20-25.
- 地村佳純・亀蔦重範・手島正広・磯貝 徹. 2014. 矢作古川 (矢作川水系・分流) の魚類相. 碧南海浜水族館年報, 26: 18-25.
- 鳥居亮一. 2016. 矢作川から得られたトビハゼ *Periophthalmus modestus*. 碧南海浜水族館年報, 28: 28.
- 吉郷英範. 2007. 日本の陸水域に出現するサメとエイ. 比婆科学 (HIBAKAGAKU), 223: 21-35.



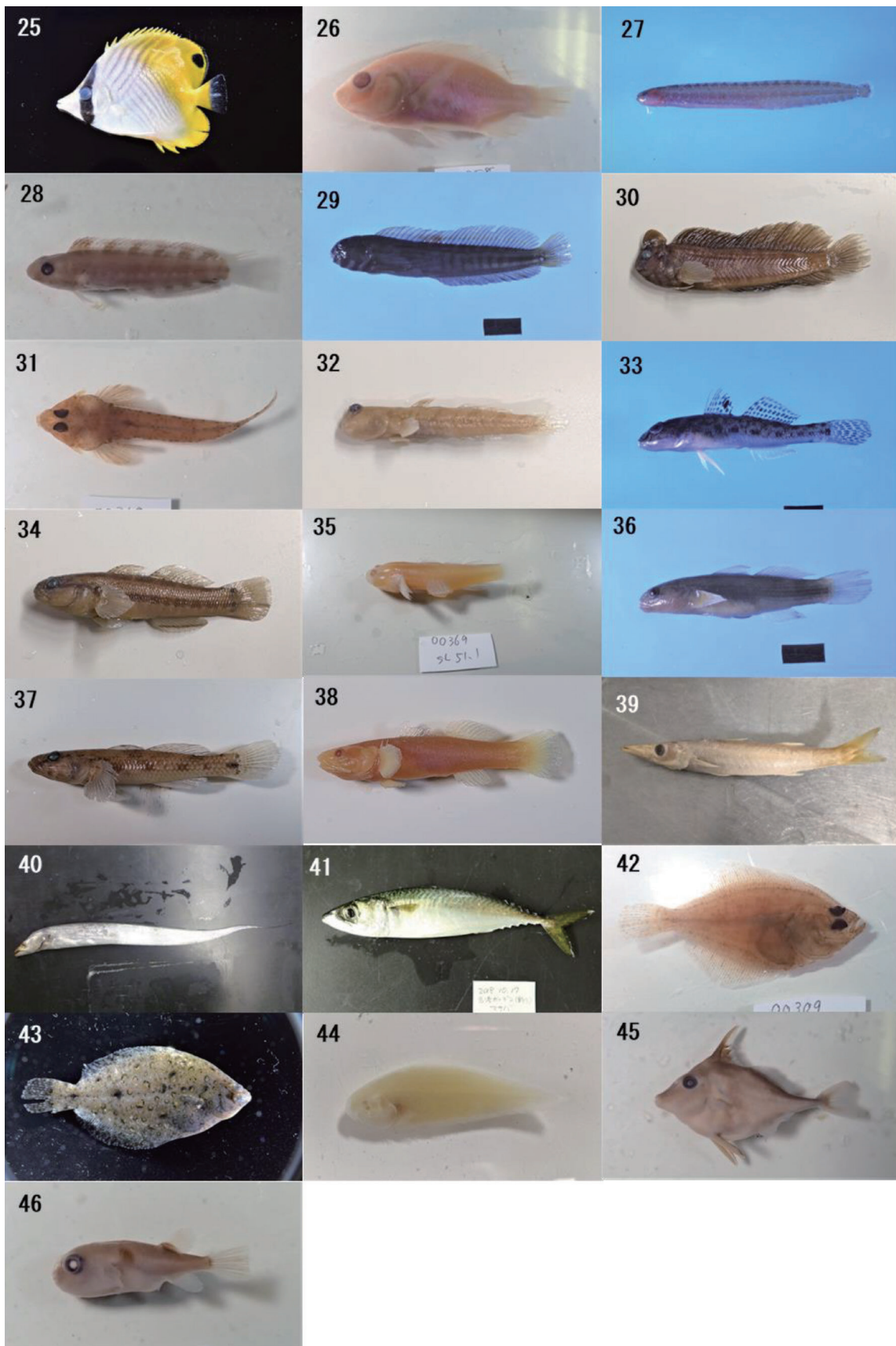


図2. 名古屋港ガーデンふ頭で採集された魚類

1. シロシユモクザメ *Sphyrna zygaena* : PNPA-Pi00387, TL : 918 mm.
2. ニホンウナギ *Anguilla japonica* : NPA-Pi00376, TL : 323.0 mm.
3. マアナゴ *Conger myriaster* : PNPA-Pi00338, SL : 91.8 mm.
4. サツパ *Sardinella zunasi* : PNPA-Pi00354, SL : 103.5 mm.
5. カタクチイワシ *Engraulis japonica* : PNPA-Pi00342, SL55.4 mm.
6. シラウオ *Salangichthys microdon* : PNPA-Pi00384, SL : 47.2 mm.
7. アマゴ (サツキマス) *Oncorhynchus masou ishikawae* : PNPA-Pi00377, SL : 179.0 mm. ※飼育個体, 展示中の写真. (平野保男氏)
8. ヨウジウオ *Syngnathus schlegel* : PNPA-Pi00323, SL : 115.1 mm.
9. ガンテンイシヨウジ *Hippichthys (Parasyngnathus) penicillus* : PNPA-Pi00392, SL : 109.8 mm.
10. ボラ *Mugil cephalus cephalu* : PNPA-Pi00337, SL : 30.7 mm.
11. トウゴロウイワシ *Hypoatherina bleekeri* : PNPA-Pi00331, SL : 38.6 mm.
12. カダヤシ *Gambusia affinis* : PNPA-Pi00315, SL : 27.2 mm.
13. ダツ *Strongylura anastomella* : PNPA-Pi00329, SL : 132.9 mm.
14. シロメバル *Sebastes cheni* : PNPA-Pi00345, SL : 56.3 mm.
15. クロソイ *Sebastes schlegelii* : PNPA-Pi00386, SL : 103.0 mm.
16. タケノコメバル *Sebastes oblongus* : PNPA-Pi00346, SL : 71.8 mm. ※飼育個体
17. カサゴ *Sebastes marmoratus* : PNPA-Pi00391, SL : 27.4 mm.
18. ホウボウ *Chelidonicichthys spinosus* : PNPA-Pi00399, SL : 24.1 mm.
19. イネゴチ *Cociella crocodila* : PNPA-Pi00383, SL : 147.7 mm. ※飼育個体
20. スズキ *Lateolabrax japonicus* : PNPA-Pi00340, SL : 109.6 mm.
21. キジハタ *Epinephelus akaara* : PNPA-Pi00396, SL : 189.2 mm.
22. ギンガメアジ *Caranx sexfasciatus* : PNPA-Pi00378, TL : 240mm.
23. ヒイラギ *Nuclepoma nuchalis* : PNPA-Pi00382, TL : 67.3 mm.
24. コシヨウダイ *Plectorhinchus cinctus* : PNPA-Pi00334, SL : 45.8 mm.
25. トゲチヨウチヨウウオ *Chaetodon auriga* : PNPA-Pi00375, SL : 62.0 mm.
26. ナイルティラピア *Oreochromis niloticus* : PNPA-Pi00358, SL : 63.2 mm.
27. ギンボ *Pholis nebulosa* : PNPA-Pi0035, SL : 72.5 mm.
28. ニジギンボ *Petroscirtes breviceps* : PNPA-Pi00322, SL : 43.1 mm.
29. イダテンギンボ *Omobranchus punctatus* : PNPA-Pi00341, SL : 54.5 mm
30. トサカギンボ *Omobranchus fasciolatoceps* : PNPA-Pi00367, SL : 47.8 mm.
31. ハタタテスメリ *Repomucenus valenciennei* : PNPA-Pi00310, SL : 56.0 mm (雄).
32. トビハゼ *Periophthalmus modestus* : PNPA-Pi00385, SL : 34.0 mm.
33. マハゼ *Acanthogobius flavimanus* : PNPA-Pi00344, SL : 47.7 mm.
34. アカオビシマハゼ *Tridentiger trigonocephalus* : PNPA-Pi00394, SL : 39.8 mm.
35. シモフリシマハゼ *Tridentiger bifasciatus* : PNPA-Pi00369, SL : 51.1 mm.
36. チチブ *Tridentiger obscurus* : PNPA-Pi00339, SL : 42.9 mm.
37. ウロハゼ *Glossogobius olivaceus* : PNPA-Pi00388, SL : 73.8 mm.
38. ドロメ *Chaenogobius gulosus* : PNPA-Pi00380, SL : 62.6 mm.
39. アカカマス *Sphyrna pinguis* : PNPA-Pi00398, SL : 213 mm.
40. タチウオ *Trichiurus japonicus* : PNPA-Pi00397, TL : 680 mm.
41. マサバ *Scomber japonicus* : PNPA-Pi00379, TL : 185.0mm.
42. イシガレイ *Kareius bicoloratus* : PNPA-Pi00309, SL : 43.4 mm.
43. マコガレイ *Pleuronectes yokohamae* : PNPA-Pi00393, SL : 74.0 mm.
44. ゲンコ *Cynoglossus interruptus* : PNPA-Pi00390, TL : 54.9 mm.
45. ギマ *Triacanthus biaculeatus* : PNPA-Pi00333, SL : 46.7 mm.
46. トラフグ *Takifugu rubripes* : PNPA-Pi00362, SL : 33.5 mm.